

教育課程特例校における特別の教育課程に基づく英語教育の編成方針等について

本校は、開校以来「国際社会で通用する人格や行動規範を培い、高い英語言語能力を育みながら、グローバルな視野で世界の仲間と共によりよい社会を創造していくことを目指す『世界に挑戦する12歳』の育成」を教育理念として教育活動を展開しています。

この理念のもとに、教育課程上で重要視しているのは英語力育成の時間であり、1年生の早い段階から学習時間を多く確保しています。まずは全学年において週30時間の授業時間枠を確保し、その授業時間をもとに低学年では英語学習の時間を多く組み込むこととしています。1・2年生は週4時間の外国語(英語)の授業時間を、3年生以上では外国語(英語)および外国語活動で週3時間の授業時間を取り入れています。

具体的には、1・2年生は、国語科と生活科からそれぞれ週1時間分の合計週2時間分を移行し、週30時間(標準時間1年生週25時間、2年生週26時間)の内の週2時間分の外国語(英語)と合わせて週4時間の外国語(英語)の授業時間を特設しています。さらに、1年生では週30時間内の残り週2時間分を算数、週1時間分を総合的な学習の時間(情報)の授業時間とし、2年生では残り週2時間分を算数1時間と総合的な学習の時間(情報)1時間としています。

3・4年生では、国語科から週1時間分を外国語(英語)へ移行し、週30時間内(標準時間3年生週28時間、4年生週29時間)の週1時間分と合わせて計週2時間を外国語(英語)の授業時間を特設しています。さらに3年生では週30時間内の残りの週1時間分を算数の授業時間としています。

5・6年生においては、週30時間内(標準時間5年生週29時間、6年生週29時間)の週1時間分を外国語(英語)の授業時間数増とし、外国語(英語)を週3時間としています。

本校のこのような特別の教育課程により、1・2年生では「ファンクショナルバイリンガル」としての人材育成を目指し、低学年から英語のシャワーを浴びせ「聞く」ことを中心に展開しながら「話す」活動へと繋げ、その後の「読む、書く」の英語4技能を伸長させていく土台を形成します。また、3・4年生では低学年で培った「聞く」「話す」の力をさらに伸ばしつつ、「読む、書く」の技能をより伸長させて高い英語力を持った国際人としての意識を高めていくこととしています。

以上